

2026年度より

# 入試制度改革実施

## 3学部が「総合型選抜」導入、一般選抜は「統一型」へ

入試部長・工学部教授 鈴木聡士

入試部長、最後の1年となりました。これまでの3年を振り返ると、これまで素晴らしい仲間、に恵まれた、一言に尽きます。

その仲間とともに、力を合わせて取り組んだ成果として、オープンキャンパス(OC)来場者数は、2023年度選抜・3376名、2024年度選抜・5023名、2025年度選抜・5890名(新たに導入した冬OCを含む)となり、過去3カ年で174.5%となりました。総志願者数も、2023年度選抜・7409名、2024年度選抜・7497名、2025年度選抜・8159名となり、過去3カ年で108.8%となりました。少子化の影響、他の道内私立大学が軒並み志願者を大幅に減少させる状況下にあっても、この3年間における本学の入試の各種取り組みは、着実に成果を上げることができたと思います。

これらの取り組みと並行して、仲間と一致団結して、2つの大きな入試制度改革を推進してきました。この改革は、今年度実施する2026年度入学志選

抜から実行します。

入試を取り巻く全国的な状況として、国立大・私立大とも総合型選抜等の年内入試による入学者が年々増加しており、国立大で2割、私立大では6割を超える状況です。このような状況の変化と将来を見据えて、本学においても、経済学部・人文学部・工学部の3学部が先行して、「総合型選抜」を導入します。これが、入試制度改革の一本目の柱です。

二本目の柱は、一般選抜の大幅な制度改革であり、4日間実施していた既存の一般選抜方式を、2日間実施する「統一型一般選抜」方式に変更します。既存の一般選抜では、同一試験目において、学部・学科・コース間ならびに1・2部間の「併願」ができませんでしたが、この統一型一般選抜では、文系学部・工学部それぞれで統一の問題を利用することにより、1日最大11併願が可能となります。また、併願数の増加に合わせて、入学検定料に合わせた、入学検定料の割引制度を大幅に充実させます。このように、受験生のチャレンジを最大限応援する入試制度改革です。

入試にかかわる様々な取り組みと並行して、このような入試制度改革を検討・実現することは、かなりの困難を伴いました。そして、時には関係各位に対して、改革に伴う「痛み」を感じさせてしまい、心苦しさを感じたことも多々ありました。しかし、大きな壁に直面する度に、

素晴らしい「仲間」がいっしょに支えてくれました。信念を共有し、共に力を合わせ、乗り越えることができました。改めて、歴代の入試委員・入試制度委員・出題者各位・入試課スタッフをはじめ、ご協力を頂いた全員の「仲間」に、心から感謝を申し上げます。共に歩めたことを、newexam/

素晴らしい「仲間」がいっしょに支えてくれました。信念を共有し、乗り越えることができました。改めて、歴代の入試委員・入試制度委員・出題者各位・入試課スタッフをはじめ、ご協力を頂いた全員の「仲間」に、心から感謝を申し上げます。共に歩めたことを、newexam/

素晴らしい「仲間」がいっしょに支えてくれました。信念を共有し、乗り越えることができました。改めて、歴代の入試委員・入試制度委員・出題者各位・入試課スタッフをはじめ、ご協力を頂いた全員の「仲間」に、心から感謝を申し上げます。共に歩めたことを、newexam/

素晴らしい「仲間」がいっしょに支えてくれました。信念を共有し、乗り越えることができました。改めて、歴代の入試委員・入試制度委員・出題者各位・入試課スタッフをはじめ、ご協力を頂いた全員の「仲間」に、心から感謝を申し上げます。共に歩めたことを、newexam/

素晴らしい「仲間」がいっしょに支えてくれました。信念を共有し、乗り越えることができました。改めて、歴代の入試委員・入試制度委員・出題者各位・入試課スタッフをはじめ、ご協力を頂いた全員の「仲間」に、心から感謝を申し上げます。共に歩めたことを、newexam/

素晴らしい「仲間」がいっしょに支えてくれました。信念を共有し、乗り越えることができました。改めて、歴代の入試委員・入試制度委員・出題者各位・入試課スタッフをはじめ、ご協力を頂いた全員の「仲間」に、心から感謝を申し上げます。共に歩めたことを、newexam/

### 全国的な状況の変化と将来を見据えて

入試にかかわる様々な取り組みと並行して、このような入試制度改革を検討・実現することは、かなりの困難を伴いました。そして、時には関係各位に対して、改革に伴う「痛み」を感じさせてしまい、心苦しさを感じたことも多々ありました。しかし、大きな壁に直面する度に、

素晴らしい「仲間」がいっしょに支えてくれました。信念を共有し、乗り越えることができました。改めて、歴代の入試委員・入試制度委員・出題者各位・入試課スタッフをはじめ、ご協力を頂いた全員の「仲間」に、心から感謝を申し上げます。共に歩めたことを、newexam/

素晴らしい「仲間」がいっしょに支えてくれました。信念を共有し、乗り越えることができました。改めて、歴代の入試委員・入試制度委員・出題者各位・入試課スタッフをはじめ、ご協力を頂いた全員の「仲間」に、心から感謝を申し上げます。共に歩めたことを、newexam/

素晴らしい「仲間」がいっしょに支えてくれました。信念を共有し、乗り越えることができました。改めて、歴代の入試委員・入試制度委員・出題者各位・入試課スタッフをはじめ、ご協力を頂いた全員の「仲間」に、心から感謝を申し上げます。共に歩めたことを、newexam/

**Point 1**

意欲・適性・能力等を総合的に評価

**Point 2**

2段階選抜方式

- 1次選考は書類審査
- 2次選考はグループディスカッション・プレゼンテーション・口頭試問等

**Point 3**

入学検定料の割引制度が充実

- 併願割引: 1出願目は30,000円、2出願目以降は半額
- 1・2部割引: 同一学科(学部)の1・2部を出願した場合、10,000円の割引
- A・B日程割引: 両日程に出願した場合、検定料合計から10,000円の割引

**Point 1**

試験日程が4日間 → 2日間(A・B日程)に短縮

**Point 1**

併願数に制限なし

- 1・2部両方に出願可能
- A・B日程の両方で同じ学部・学科・コースに出願可能
- 工学部(A日程)は共通テスト1科目を利用する「併用型」を導入

**Point 2**

併願割引: 1出願目は30,000円、2出願目以降は半額

**Point 3**

併願割引: 同一学科(学部)の1・2部を出願した場合、10,000円の割引

**Point 1**

併願割引: 同一学科(学部)の1・2部を出願した場合、10,000円の割引

## 2025年度 第1回市民公開講座

### 自分の読み方を探すための外国文学講座

2025年度第1回市民公開講座が7月12日、8号館3階B32教室で開催された。自分の好きな文学、他の人はどう読んでいるか、大学ではどう読み方を教えているか、プロの研究者はどんな楽しみ方をしているか。外国文学の楽しみ方について語りあいながら、新しい読み方を探す。本学人文学部の小松かおり教授が進行し、ワークショップ、同・森川慎也教授による講演が行われ、本好きの参加者が大いに盛り上がる会となった。



ワークショップの様子

「そもそも文学教育とは」

はじめに人文学部長の森川先生より挨拶があり、小松先生から趣旨説明がされた。小松先生は授業で学生の読書レポートを読む際に「良い文学の読み方とは?」「そもそも文学って何を学ぶもの?」と考えるようになり、本の楽しみ方をもう少し広げてみようとの講座を企画したと話した。自身が人類学者になるきっかけになった本や、研究者となったから興味を持ったアフリカ文学、移民文学といった

文学研究って何ですか?

その後「文学『研究』とわ

外国文学を紹介した。次に、1時間半ほどのワークショップが行われた。この講座に参加するにあたり、参加者は自分のお気に入りの外国文学を1冊持参している。参加者は3、4名のグループになり、前半は各自が自分の好きな文学や、文学の楽しみ方を自由に語る時間。後半は意見交換をする時間となった。ワークショップの最後には各グループの代表者が発表を行い、持ち寄った本の紹介や盛り上がった話題について話した。参加者は原書読解の経験や多様な読み方を通して、外国文学の楽しみ方を共有していた。休憩時間には本を紹介して交流を行うなど、互いの興味が尽きない様子だった。



人文学部 森川慎也教授

口の本「わたしを離さないで」をもとに、自身の研究の実践例をユーモアを交えながら紹介。外国文学を広げられた。

翻訳で読まず原文で読んで理由を提示し、原文で読むことの重要性を伝えた。また、「原文を読んだおもしろさを人に伝えるため、自分で翻訳をしてみよう」と思い立ち、邦訳のない書籍を訳し出版するという文学との関わり方を話した。講演後は参加者との質疑応答が行われ、「作家は自分の作品の読者になり得るか」「AI作品は評価されるか」といった活発な議論が繰り広げられた。

## 法学部カフェ

### 「第63回法学部カフェ」が6月28日、紀伊屋書店札幌本店で開催された。

このイベントは書籍『ウィーン1938年 最後の日々』オーストリア併合と芸術都市の抵抗(慶應義塾大学出版会)で、2024年度芸術選奨(評論部門)文部科学大臣新人賞を受賞した本学法学部・高橋義彦教授が話し手となり、受賞と連動した企画となっている。司会の館田晶子教授、聞き手の北原博教授とともに、活発なディスカッションが行われた。

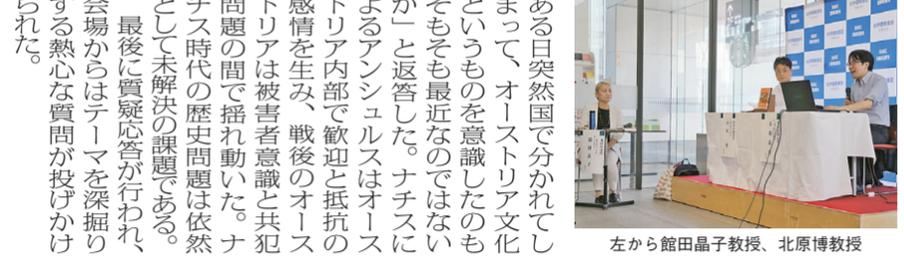
書籍は、1938年3月ナチス・ドイツによるオーストリア併合「アンシュルス」が主題。はじめに高橋先生から書籍内容が紹介された。第1章はアンシュルス時代のオーストリア首相クルト・シュシュニクの人となりや、芸術文化人との関わり、ドイツ首相アドルフ・ヒトラーとの会談といったエピソードが掲載されている。第2章はアンシュルス前の文化状況について、音楽家のブルーノ・ワルター、

作家のフランツ・ヴェルフエルトとアルマ・マラーラーヴェルフエル夫妻、作家のエリカ・カネットイを通して描いている。第3章は「オーストリアの一番長い日」と題して、1938年3月11日

### アンシュルス前後のオーストリアの記憶を描く

像劇を描き出している」と文学的観点から書籍の感想を述べた。ヨーロッパのサロン文化が政治に大きく影響を与えていく様子について館田先生からお話がある。北原先生は、文学サロンなどそこから世に出されていく文学が集まるサロンもあるという紹介がされた。

オーストリア文化とドイツ文化の違いや類似している点に話が及ぶと、高橋先生は「もともとオーストリアはハプスブルク帝国の一部で多民族であったが大戦で崩壊し、それぞれに国に分かれた。文化の違いは区分けが難しい領域なのではないか」と話し、北原先生も「ひとつの国で共に過ごしていた多民族が



左から館田晶子教授、北原博教授

北海学園学術研究助成事業報告③④

高大接続の充実に向けた外国語教育・国際理解教育・留学プログラムの研究

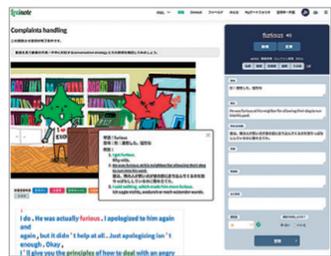
人文学部教授 田中 洋也

北海道旭川市出身。北海道教育大学旭川校卒業。北海道大学大学院国際広報メディア研究科修士課程、博士課程修了、博士(国際広報メディア)。

高等学校と大学を接続した教育の重要性については、改めて指摘するまでもないが、カリキュラムの連携や生徒・学生個人の学習を引き継いだ接続教育は、その実施が困難である。本研究では、

高・大生が学習しやすい環境へ

調査を行った。高大を接続した英語教育の実践に向けては、研究代表者がこれまで開発、運用してきた英語学習電子ポートフォリオ Lexinote に機能追加を行なった。Lexinote は「学習者が学習、



Lexinote 動画学習機能

①教師が学習目標語彙項目をカスタマイズして学習者に提示、学習を促す課題語彙学習機能、②YouTube 上の動画から字幕を取得し、学習者が学習対象とする語彙項目を選択、例文情報を検索、ポートフォリオに蓄積、学習する動画学習機能である。課題語彙学習機能は、学習者が音声認識技術を用いて発声しながらの学習もできるよう、高校生にも学習しやすい形式を取り入れた。動画

研究室の窓

工学部教授 カストロ ホワンホセ

東アフリカのタンザニア連合共和国サンジバル島にある「ストーン・タウン」をご存じですか。街全体が歴史的建築物として2000年にユネスコから世界文化遺産として登録され、特にヨーロッパからの観光客に人気の高い場所として知られています。日本国内ではあまり見かけない3階建ての石造建築物が立ち並び、美しいインド洋を望む熱帯リゾート地で、歴史的の振動特性(揺れやすさ)を測り、対象建築物の構造を調査する予定です。

東アフリカの歴史的建築物とSDG's

ア商人の貿易地として栄え、近年ではイギリスの統治領時代を経て現在に至っています。カストロ研究室が研究対象としていたのは、主に18世紀から19世紀にかけて建てられた王族や富裕層のアラブ式建築物で、研究目的は、それらの保存状態を構造工学的に検証し、適切な保全に役立つような資料を作成していくことでした。これまで現地の文化庁歴史建物保全事務所が行ってきた目視による構造状態検証に加えて、私たちの調査チームは常時調査装置により、建築物の微動特性(揺れやすさ)を測り、対象建築物の構造を調査する予定です。



著者(左)と Ali Bimkubwa (琉球大学大学院生、博士後期課程)、サンバル島にての調査時

法学部講師 津田 久美子



今年の私のゼミ(演習)では「グローバルサウス」をテーマにしています。グローバルサウスとは南半球に多い新興国・途上国の総称で、近年注目を集めています。

グローバルサウスに何を問うか

なぜ今注目されているのでしょうか。第一に、経済的影響力の急速な拡大です。先進国などが加盟するBRICS という枠組みはあり

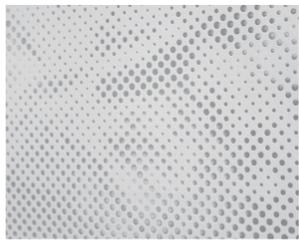
下し、今後はサウス諸国が世界経済を牽引していくとされています。第二に、国際政治での存在感の高まりです。米中対立やロシアのウクライナ侵攻で既存の国際秩序が揺らぐ中、グローバルサウス諸国は「第三極」として独自の外交路線を歩んでいます。

工学部 原井憲一 教授 個展「彫刻の窓」開催

本学工学部・原井憲一教授が6月7日(22日)、札幌市内のGALLERY Y 創にて個展「彫刻の窓」を開催した。



個展会場の様子。離れて見ると十勝岳が浮かび上がる



大小様々な穴をあける



背景によって作品の印象も変わる

所や空間全体を作品とする(芸術)となっている。もと「絵が当たり前に額に飾られ、空間の中心にある状態に違和感を持つようになった」という。絵作品と壁空間との関係を意識するようになった原井先生は、絵と壁の関係が曖昧になるような作品を模索している。



熱心に耳を傾ける経済学部生

栗山英樹特任教授が講演

経済学部では1年生を対象として、大学の学びの基礎を身につける基礎セミナーが開講されています。任教授・栗山英樹先生をお招きして、学び続けることの大切さについてお話しいただきました。司会を担当した経済学部教授・越後修との対話も交えつつ、読書などによってつねに幅の広い知見を得ようとする努力することや、挑戦し続けることの大切さを伝授してくださいました。



栗山英樹特任教授

ビジネスデザイン実践講座  
NHK大学セミナーと連携



NHKセミナーとの連携講座の様子

地域連携推進機構が実施する「ビジネスデザイン実践講座」(水・5、担当・佐藤大輔経営学部教授)は、学生たちが社会人と共にビジネス上のリアルな課題の解決を目指して取り組むプロジェクト型(PBL)授業です。...

この講座では、NHKの番組コンテンツ「フュッショナル」の仕事の流れ「このコラボ」として同番組のディレクター3名をゲストに迎え、...



スイス-高いロシュタワー(ロシュ社の本社ビル)から見下ろしたパーゼルの街

在 外 研 修 報 告

法学部教授 五十嵐 素子 (専門:教育実践のコミュニケーション論)

2024年2月から1年間、スイスのパーゼル大学にて、ロレンザ・モリダ先生の研究室で在外研修を行いました。...

文化の交差点スイス・パーゼルでの学び

6月18日、工学部3号館生命系学生実験室1において、学内関係教職員、学生が参加して、生命工学科の研究・教育に供された実験生物に対する感謝と追悼の意を表す会が行われた。...

未来展望



経済学部教授 上園 昌武

今夏の北海道は猛暑が続いています。気候変動による農林漁業の不振などの悪影響が懸念されており、脱炭素社会への移行は待ったなしの状況です。

地域主導で脱炭素社会をつくる

主導の脱炭素対策(省エネや再生可能エネルギーの普及)は、こうした地域課題を同時に解決し、地域社会を豊かにすることが可能です。...

生命工学科の学生が選抜した酵母を使用クラフトビール「Lablogue(ラボローグ)」が発売中



クラフトビール「Lablogue」 公式インスタグラムはこちら

工学部生命工学科・新沼研究室では、「知識と技術で地域に貢献したい」との思いから、2024年より札幌市豊平区のブルワリーTRANS BREWINGと連携し、おいしいビールづくりにつながるバイオ研究に取り組んでいる。

北海学園大学同窓会(豊平会) 奨学生認定証授与

同窓会(豊平会)は優秀な学業成績をあげたことが認められた学生21人を第1種奨学生として認定しました。

北海学園大学同窓会第1種奨学金給付学生

Table with 4 columns: 学部/学科, 学年, 氏名, 学部/学科, 学年, 氏名. Lists names of students receiving scholarships.

教育振興会 奨学金B授与

教育振興会は、奨学金B(「学業成績が特に優れている学生への奨学金」)を9人の学生に給付します。

奨学金B給付学生

Table with 4 columns: 学部/学科, 学年, 氏名, 学部/学科, 学年, 氏名. Lists names of students receiving scholarships.



朝倉利光名誉教授(右)と森下宏美学長

2025(令和7)年6月6日、本学元学長の朝倉利光名誉教授より、本学の教育研究活動寄与のためとしてご寄付を賜りました。...



実験生物に黙祷を捧げた

工学部 社会環境工学科・建築学科・電子情報工学科・生命工学科

# 女子学生が工学部の大学生活を語る

## 「好き」を共有できる仲間と出会えて充実した日々を送る



建築学科4年 原田 依吹



建築学科3年 牧野 茜



電子情報工学科4年 赤松 清花



電子情報工学科4年 蟬塚 樹杏



生命工学科4年 松本 里緒菜



生命工学科4年 安藤 凜音



社会環境工学科3年 横山 彩音



社会環境工学科3年 佐藤 優羽



佐藤 私は数学の教員免許を取りたかったのと、高校でSDGsを企画する授業などで環境系を学ぶのが好きだったので、社会環境工学科にしました。

興味のあることや将来を見据えて理系へ  
—現在の学科を選んだきっかけを教えてください。

原田 私は小さい頃に『大改造!!劇的ビフォーアフター』などのテレビ番組から家具やリフォームが好きになり、建築学科に進学しました。

赤松 ウェブサイト制作からソフトウェアに興味を持って、ソフトとハードの2つとも勉強できる電子情報工学科にしました。

横山 高校で農業土木を学んだので、橋や設計などを大学でもっと深く学びたいと思って社会環境工学科(社環)を選びました。

松本 私は虫や爬虫類などの生物が好きだったので、情報にも興味があったので、両方学べる生命工学科にしました。実はちょっと建築学科と迷いました(笑)。

安藤 私は理科の教員免許を取りたかったのと、昔から好きだった植物の研究をしてみたくて生命工学科にしました。

松本 高校生の時は、工学部って先生が堅苦しいイメージがあったんですけど、生命の先生はみんな明るくておもしろくて、自分から話を聞きたいと思えるよう

佐藤 私は数学の教員免許を取りたかったのと、高校でSDGsを企画する授業などで環境系を学ぶのが好きだったので、社会環境工学科にしました。

### 仲間や先生が 挑戦を後押ししてくれる環境

原田 建築は歴史や空間、リノベーション、構造などを学びます。空間デザインでは模型を作りますが、本当に大変で、やりたくないと思ってしまうことがありますが、とても楽しいです。

松本 私が一番楽しかった授業は空間デザインで、これ(左写真参考)は2年生の一番最初にやったもので、工学部の前にカプセルラスを設計するという課題で、音をイメージしてカプセルを作りました。結構大変だったんですけど、初めて模型

横山 私は2年生の時の土質の授業が得意でした。土の構造や計算を学びます。その座学をベースに、土の強度や透水性を調べる実験を行います。レポートは少し難しいですけど、やりがいがあります。

安藤 生命は遺伝子の勉強や、酵母を使う実験、情報系ではプログラミングもやります。私は実験が好きなので、3年生のバイオテクノロジー実習が、自分のDNAを取って行う実験だった

佐藤 私は上下水道工学が好きです。山田先生が最近のニュースと絡めて話を聞かせてくれるので、自分たちが当たり前のようになっているライフラインについて理解を深めることができ

原田 測量は建築でもやります。それを使ってどこかで掘るか、掘ったところか

横山 入学した時にクラスで女子が私だけで、1年生の履修登録の時間も他の女子と仲良くなるのができて、自由に入ったり、触ってもらっても大丈夫です。

松本 建築だと思ってるんですけど、グループで集まって、建造物みたいなものを飾っているのが気に入りました。

安藤 入学前は友達ができなくて仲良くなれるかんじがします。

原田 女子が少ないだろうと緊張していたんですけど、少ないからこそ団結力があって仲良くなれるかんじ

松本 建築だと思ってるんですけど、グループで集まって、建造物みたいなものを飾っているのが気に入りました。

安藤 入学前は友達ができなくて仲良くなれるかんじがします。



4学科に関連した製作物など

赤松 私のところは自然言語処理の分野なので、言語に関してアプローチを仕掛けてます。今考えているのは、漫画を読み取ってその漫画の出版社を推測する、という構想です。ハード系の分野であれば、高氏先生のと

佐藤 まだゼミに入っていないので私たちがわからないことがあり、一緒に学んでいるかんじです。

松本 卒業研究はどんなことをするんですか?

横山 社環は水をきれいにする作業や、川の流れのシミュレーションを見ること

安藤 入学前は友達ができなくて仲良くなれるかんじがします。

松本 建築だと思ってるんですけど、グループで集まって、建造物みたいなものを飾っているのが気に入りました。

原田 オープンキャンパス

松本 入学した時にクラスで女子が私だけで、1年生の履修登録の時間も他の女子と仲良くなるのができて、自由に入ったり、触ってもらっても大丈夫です。

佐藤 まだゼミに入っていないので私たちがわからないことがあり、一緒に学んでいるかんじです。

松本 卒業研究はどんなことをするんですか?

横山 社環は水をきれいにする作業や、川の流れのシミュレーションを見ること

安藤 入学前は友達ができなくて仲良くなれるかんじがします。

松本 建築だと思ってるんですけど、グループで集まって、建造物みたいなものを飾っているのが気に入りました。

原田 オープンキャンパス

松本 入学した時にクラスで女子が私だけで、1年生の履修登録の時間も他の女子と仲良くなるのができて、自由に入ったり、触ってもらっても大丈夫です。

佐藤 まだゼミに入っていないので私たちがわからないことがあり、一緒に学んでいるかんじです。

松本 卒業研究はどんなことをするんですか?

横山 社環は水をきれいにする作業や、川の流れのシミュレーションを見ること

安藤 入学前は友達ができなくて仲良くなれるかんじがします。

松本 建築だと思ってるんですけど、グループで集まって、建造物みたいなものを飾っているのが気に入りました。



研究室を訪ねて Vol.20

経営学部経営情報学科 中川 裕美 講師 【社会心理学】

広島修道大学大学院人文科学研究科心理学専攻博士後期課程修了。博士(心理学)(広島修道大学)。研究テーマは、社会集団の協力行動に関する研究。

中川 ええ。私は広島県広島市出身で、小学生の頃から父に連れられてよくカーブの応援に行きました。2009年に現在の「マツダスタジアム」が完成する前の市民球場は、古くて観覧席の角度も急であり人気がなく、女性や子どもの姿はほとんどありませんでした。そこにカーブのユニフォームを着た子どもの私が行くと、すぐ着められるんです。

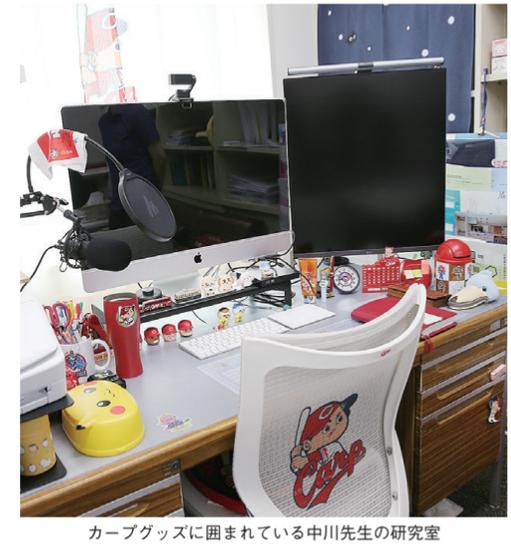
強くなるために自信をつける技法というイメージです。中川 それだけでなく、記録が出なかったりケガをしたりして落ち込んだ時にそれをどう捉え直すかも重要な項目です。逆に、過度な自信や覚醒はミスにつながるんです。うってリラックスするとか、メンバーとどうコミュニケーションを取っていくかなどについても教えます。

中川先生の手解 中川 ええ。女性アスリートに起こりがちなのですが、減量が求められたり、美しさを評価される競技では、摂食障害に陥ることもあります。そこからクレプトマニア(窃盗症。お金がないから盗むのではなく、万引などの行動そのものがやめられない精神疾患)になったケースも知られています。

中川 同じカテゴリーの集団内での協力行動、具体的にはスポーツファンの集団と、スポーツ以外の趣味の集団との、協力行動の比較です。私がおもしろいと思うのは、同じ野球チームのファン同士が助け合うこと。お金が関係しておらず、抜けるのも自由な集団でなぜ親切にするのかということですね。

中川 ええ。私は広島県広島市出身で、小学生の頃から父に連れられてよくカーブの応援に行きました。2009年に現在の「マツダスタジアム」が完成する前の市民球場は、古くて観覧席の角度も急であり人気がなく、女性や子どもの姿はほとんどありませんでした。そこにカーブのユニフォームを着た子どもの私が行くと、すぐ着められるんです。

中川 ええ。私は広島県広島市出身で、小学生の頃から父に連れられてよくカーブの応援に行きました。2009年に現在の「マツダスタジアム」が完成する前の市民球場は、古くて観覧席の角度も急であり人気がなく、女性や子どもの姿はほとんどありませんでした。そこにカーブのユニフォームを着た子どもの私が行くと、すぐ着められるんです。



カーブグッズに囲まれている中川先生の研究室

社会集団による「協力」や「排除」の心理メカニズムを明らかにする

中川 ええ。私は広島県広島市出身で、小学生の頃から父に連れられてよくカーブの応援に行きました。2009年に現在の「マツダスタジアム」が完成する前の市民球場は、古くて観覧席の角度も急であり人気がなく、女性や子どもの姿はほとんどありませんでした。そこにカーブのユニフォームを着た子どもの私が行くと、すぐ着められるんです。

中川 ええ。私は広島県広島市出身で、小学生の頃から父に連れられてよくカーブの応援に行きました。2009年に現在の「マツダスタジアム」が完成する前の市民球場は、古くて観覧席の角度も急であり人気がなく、女性や子どもの姿はほとんどありませんでした。そこにカーブのユニフォームを着た子どもの私が行くと、すぐ着められるんです。

グループ閉鎖性といじめとの関係

樺坂46の「黒い羊」を聴いたことがありますか？ 歌詞には「真っ白な群れに悪目立ちしている。自分だけが真っ黒な羊。と言ったって同じ色に染まりたくないんだ。」というフレーズがあります。黒い羊という言葉は心理学領域でも使われます。私の共同研究では、集団の閉鎖性に着目していじめにつながる黒い羊効果を検証しています。

第71回 対東北学院大学総合定期戦

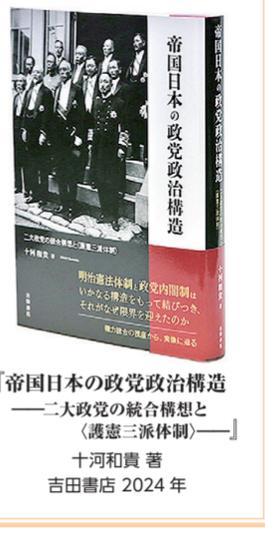


卓球(男子)の試合 バレーボール(女子)の試合

Table with match results for the 71st regular season. Columns include '公式種目' (Official Events), '試合結果' (Match Results), '東北学院大' (Tohoku Gakuin University), and '北海学園大' (Hokkai Gakuen University). Rows list various sports like Hockey, Football, Badminton, etc.

自著を語る 39

法学部准教授 十河 和貴 日本議院内閣制は、実態としては「官僚内閣制」であるという指摘があります。首相権限の強化や官邸主導が模索されてきた近年の政治改革は、官僚の影響力が強い日本型政治の問題点に対応しようとするものでした。国民の支持を得た公約に基づき、政党が主導する形で官僚に行政を委任する形こそが、健全な民主主義が機能していくための力でしょう。



『帝国日本の政党政治構造——二大政党の統合構想と「議憲三派体制」—— 十河和貴 著 吉田書店 2024年

学生事業者たちによる実験的ビジネスの実証イベント

### ビジネスインキュベーション『Fes!』

7月上旬の4日間において、学生事業者たちによる実験的ビジネスの実証イベント『ビジネスインキュベーション』が本学アロムナード(7号館前ベース)にて実施されました(7/7~10)。このイベントは、本学のスタートアップ支援や課題解決型プロジェクトに参加する全学部からの学生たちが、思い思いに自分たちのビジネスを構想し、それを具現化することを通じて実践を学ぶ、いわば萌芽的ビジネスの祭典です。

今回は、服飾リサイクルや豊富町の地域活性化、ニセコワイズ温泉の魅力発信のほか、学生のキャンパスライフを彩るフード販売など全6事業者がそれぞれのビジネスを展開しました。



フード販売とニセコワイズ温泉の魅力発信ブース



キッチンカーの出店も併催された

大学におけるスタートアップ支援などプラクティカル(実践的)な教育プログラムでは、単に金儲けとしてのビジネスを実現するのではなく、それが社会課題の解決やイノベーションにつながるに寄与するのかが重要な観点から、本プログラムでは「学術と実践の架橋」を前提とし、その上で自分たちの「問い」に対してどのような「仮説」を構築できるかに重点を置いています。

学生事業者たちはイベントまでにピッチや面談、プロトタイプ制作を繰り返し、なんとかその実現に近づけています。晴天に恵まれたこともあって、4日間は無事、盛況のうちに終えることができました。スタートアップ支援室ではこうした実践的なプログラムを今後も展開していく予定です。もちろん、興味のある全ての本学学生が参加することができ、これからのような取り組みにご理解とご支援をいただければ幸いです。



『Special Meetup—English Day』の集合写真

今年度も国際交流サロンの学生・生徒が交流を行うイベントとして、北海学園系「Multilingual Meetup」が開催されています。最近では留学や海外に興味を持つ学生に浸透してきており、参加者数も増え、カナダ・レスブリック大学から交換学生を受け入れた6月10日開催の『Special Meetup—English Day』では過去最大の参加人数で大いに盛り上がり、あっという間の1時間となりました。普段のEnglish Dayでは本学学生にファシリテーターとして協力

### 留学生との交流会「Multilingual Meetup」

り、本イベントに欠かすことのできない存在として活躍しております。本イベントは上記English Day以外にChinese Day、Korean Dayも実施しており、今年度は更に4月から6月の間、ロシア協定校であるノボシビルスク大学からの交換留学生に協力をいただき、Multilingual Dayとして多言語を使用した交流をするなど、様々な地域や言語に興味を持った学生に参加いただけるよう、取り組んでおります。また、系列校の高校生にとり、年齢が近い先輩が国際交流に積極的に参加している姿を直接感じることも大きな刺激となっております。



『Meetup English Day』の様子

後期もより多くの学生に興味・関心を持っていただけた交流を計画しており、詳細な日程等が決まりましたら、GIPSUS!で周知をいたします。大学公式Xでもイベントの様子を確認いただけますので、興味のある方はフォローしてください。会場は豊平校舎教育会館2階の学園オープンラウンジですので、多くの皆様の参加をお待ちしております。

### ホストファミリー体験記

英語を通して広がるコミュニティ

若林 沙樹

法学部法律学科3年  
留学生が帰国した今少し大袈裟に聞こえるかもしれませんが、共に過ごした3週間は特別で非常の日常のような時間であったと感じています。そう思うのは一緒にいるのが当たり前だったからです。Ethanとは初日からすぐに打ち解けることができ、日本とカナダのことを沢山話しました。彼は絵が得意で筆ペンも使っているイラストを描いてくれました。休日は小樽観光やエスコンフィールドで野球観戦をしまし



小樽観光をする留学生のEthanと私(写真右が筆者)

た! Ethanの住む場所は内陸地のため、海から見る夕日にも感動していました。私も北海道の魅力を見学するところが出来ました。印象的だったのは他の留学生やピアサポーターと居酒屋に行き、皆でざーっと英語で話し続けていたことです。昨年私がカナダに留学で行った日常のようでした。そう思うのは一緒にいるのが当たり前だったからです。Ethanとは初日からすぐに打ち解けることができ、日本とカナダのことを沢山話しました。彼は絵が得意で筆ペンも使っているイラストを描いてくれました。休日は小樽観光やエスコンフィールドで野球観戦をしまし

ときよりも英語を使っていた感じがします。またこの交流で同じように国際交流の好きな学生と関わることで、英語力はもちろん、彼らの行動力に刺激を受けました。最後に一番感謝を伝えたいのは家族です。当初受け入れは反対されましたが、食事の準備や家事、何よりEthanが楽しむことを第一に考えてくれました。見送りの際に母から「沙樹がいたから出会えたんだよ、ありがとう」と言ってもらった言葉に涙が止まりませんでした。この交流の絆をこれからも続けたいと思います。

### 公認会計士試験に合格 学長賞授与

本学経済学部経済学科2年の遠藤諒汰さんが、難関の国家試験のひとつである公認会計士試験に合格した。これを称えて、5月14日に関係者同席のもと、森下宏美学長から学長賞が授与された。



遠藤諒汰さん(前列左)に学長賞授与

### 全国大会で優秀賞

第6回全日本大学生中国語スピーチコンテスト・第24回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選大会  
第6回全日本大学生中国語スピーチコンテスト2年・塩浜快斗さんが2等賞、同・岡田さちさんが3等賞、道ブロック予選並びに第24回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本予選大会(北海道ブロック)が5月25日、札幌大学で開催された。前者では経営学部3年・安和陸人が優秀賞を受賞し、後者は人文学部4年・安和陸さんが1等賞を受賞した。これにより、安和さんが6月21日に法政大学で開催された全国大会に出場し、見事、優秀賞を受賞した。



左から、塩浜快斗さん、岡田さちさん、西川桃花さん、安和陸人さん

### 沼田町空き家リノベーションプロジェクト2025

工学部建築学科で当岡本研究室を中心に2017年度から実施している沼田町空き家リノベーション活動が今年度もスタートです。「ポーターレス・シェアハウス」をテーマに2年がかりで手がける工程の2年目です。4月22日は物件の実測後、地域性をデザインに反映した小学校や制作中のあんどんを見学しました。帰礼後、2カグループに分かれ改修案を検討して、5月30日に沼田町役場にてプレゼンテーションを行いました。参加者の投票で「異文化交流」を謳った提案が採用されました。翌日は採用案に沿って部分的に解体し、構造材の配置などを確認しました。1巡目は6月19日から3泊4日で、不要部分の解体

工学部建築学科で当岡本研究室を中心に2017年度から実施している沼田町空き家リノベーション活動が今年度もスタートです。「ポーターレス・シェアハウス」をテーマに2年がかりで手がける工程の2年目です。4月22日は物件の実測後、地域性をデザインに反映した小学校や制作中のあんどんを見学しました。帰礼後、2カグループに分かれ改修案を検討して、5月30日に沼田町役場にてプレゼンテーションを行いました。参加者の投票で「異文化交流」を謳った提案が採用されました。翌日は採用案に沿って部分的に解体し、構造材の配置などを確認しました。1巡目は6月19日から3泊4日で、不要部分の解体



床下の状況確認と簡易補修



洋室の押入を解体撤去

4年生には、後輩たちが安全に楽しく色々な作業を経験できるように役割分担や作業配分に気を配る温かさに加え、自分たちもこの貴重な機会を経験し尽くそうとする静かな熱量を感じました。工業高校出身のリーダーは現場の進捗管理が板に付いてきています。このプロジェクトは、地域まちづくりへの貢献と、学生が実体験を通じて建築や地域と向き合う機会の創出を目指す取り組みです。(執筆:工学部建築学科教授 岡本浩一)

### 私の学び

人文学部英文文化学科4年 安和 陸人

私が中国語を勉強し始めたのは、中国の曲に興味を持ったことがきっかけです。初めは中国語特有の発音に心を奪われ、その後、たくさん中国人と交流するうちに、「もっと深く中国を知りたい」と思うようになり、中国語の勉強を始めました。2022年、本学の教授から中国語コンテストの紹介を受けて中国語大会に参加して自信を得て、翌年中国へ語学留学しました。そこで、たくさん経験や人脈を手に入れたので、本当にいい機会でした。そして、また出場参加の条件を満たしていたので、今回の中国語コンテストに参加しました。本学の先生たちの手厚い指導のおかげで、決勝大会で日本5位を取

### 中国語をきっかけに、日中の架け橋へ

これからは中国語の勉強を続け、常に海外の情報を仕入れ、一人前の国際人になれるように努力していきたいと思っています。同時に、日中の架け橋となりたいと思っています。



第24回「漢語橋」世界大学生中国語コンテスト日本決勝大会でスピーチをする著者

同時に、日中の架け橋となりたいと思っています。同時に、日中の架け橋となりたいと思っています。

# 学園人脈記

第32回

株式会社 山大小林商店  
代表取締役社長 小林 泰弘 氏  
経営学部経営学科 2006年度卒・1期生



多種多様な業界で活躍する同窓生をリレー形式で紹介している「人脈記」。前回登場の大友幹人さんが、株式会社山大小林商店の代表、小林泰弘さんを紹介してくれました。

オホーツク海と日本海に面している日本最北の地。創業から70年以上の長い歴史を持つ山大小林商店は、北海道の恵み豊かな魚介を提供する鮮魚卸事業や、伝統の技と最新技術を融合させた水産食品の製造

加工事業を行っている。現在、代表取締役社長として会社を支えているのは、小林泰弘さん40歳。小林さんは高校卒業まで稚内で暮らし、両親から「大学を受験したいなら援助をするよ」と言われたことをきっかけに、得意だった数学が受験科目にあった本学を選択した。



公認山岳スポーツ指導者  
文: 京極 紘一  
法学部法律学科  
1966年卒・II 1期生

法学部は今年度開創60周年を迎えますが、私はそのII部法学部の第1期生であります。入学後直ぐに登山のサークルである北海岳友会に入部しました。岳友会には働きながら学ぶII部学生とOBが一緒に活動するクラブで、この特異な形態は全国的にも珍しく、現在この形を保ったまま活動を続けております。先輩から本格的な登山は生生涯学習(北海岳友会と共に)

北海道の1500m以上の高峰150座を夏と冬の両シーズンに登山を成し遂げました。これが評価され北海道山岳連盟から功績者表彰を受けました。このことは拙著『道内の高峰 夏冬登山』にまとめました。その後は、道内や本州の山はもとより、海外のカムチャツカ半島やサハリン、モンゴル、キルギスの辺境の山々を歩き回

「誠実・信用・謙虚・感謝」が仕事には最も大切なサイクルだ」と父親がよく口にしていたという。この言葉を胸に、これからも努力を続けていく。



準硬式野球部のメンバー

6月10日、16日に行われた北海道地区準硬式野球一部リーグ大会(札幌市円山球場)において、本学準硬式野球部が3勝2分という好成績で優勝した。石山蓮さんがベストナイン、藤川真生さんが最優秀選手など、複数の選手が個人賞を受賞した。

5月18日に北海きたえーるで開催された北海道学生柔道優勝大会において、本学柔道部が男女ともに団体戦で3位に入賞し、全国大会への出場を決めた。男子の全国大会出場は10年連続となる。



柔道部のメンバー

睡眠不足でも動けるものなんだ」と感じるほど充実していたという。部活動は1年で辞めたが、アルバイトは任される仕事が増え、ますます楽しくなって卒業まで続けた。

卒業時期は就職氷河期。IT業や銀行など、様々な企業の採用試験を受けた。そんな時、稚内を離れていた兄から「将来的には稚内に帰ります。これが今の私の使命です」

「誠実・信用・謙虚・感謝」が仕事には最も大切なサイクルだ」と父親がよく口にしていたという。この言葉を胸に、これからも努力を続けていく。

き綴り出版しました。ヒマラヤも当時地図の空白部と言われた西ネパールに入って、探検要素の強い遠征で6000mの未踏峰に初登山を果たし、会創立20周年ではアラスカの高峰に登山して出かけたものです。

5月18日に北海きたえーるで開催された北海道学生柔道優勝大会において、本学柔道部が男女ともに団体戦で3位に入賞し、全国大会への出場を決めた。男子の全国大会出場は10年連続となる。

5月11日に北海道大学で行われた第70回北海道学生剣道選手権大会に本学剣道部が出場して川瀬錬さん(法学部4年)、佐藤翼さん(法学部1年)の2名が3位の成績を収め、全国大会への出場を決めた。7月5日、6日に日本武道館で全国大会が行われ、それぞれ健闘した。



北海道礼文高等学校  
教諭 木村 日和 氏  
人文学部日本文化学科  
2024年度卒・29期生

近所の憧れの先輩が学校の先生だったことをきっかけに、国語教師を目指した木村さん。自分自身を「平均点は取れるけれど、一番にはなれない器用貧乏」だ

これを称えて6月17日に関係者同席のもと、パーベルクラブの3名に森下宏美学長から学長賞が授与された。

5月11日に北海道大学で行われた第70回北海道学生剣道選手権大会に本学剣道部が出場して川瀬錬さん(法学部4年)、佐藤翼さん(法学部1年)の2名が3位の成績を収め、全国大会への出場を決めた。7月5日、6日に日本武道館で全国大会が行われ、それぞれ健闘した。



剣道部のメンバー

